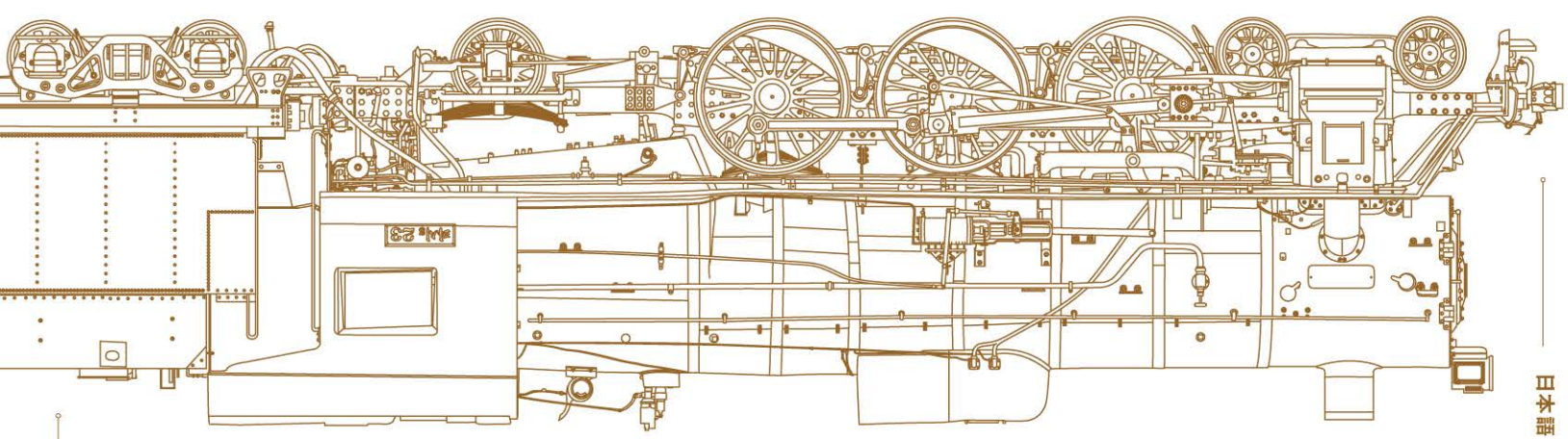
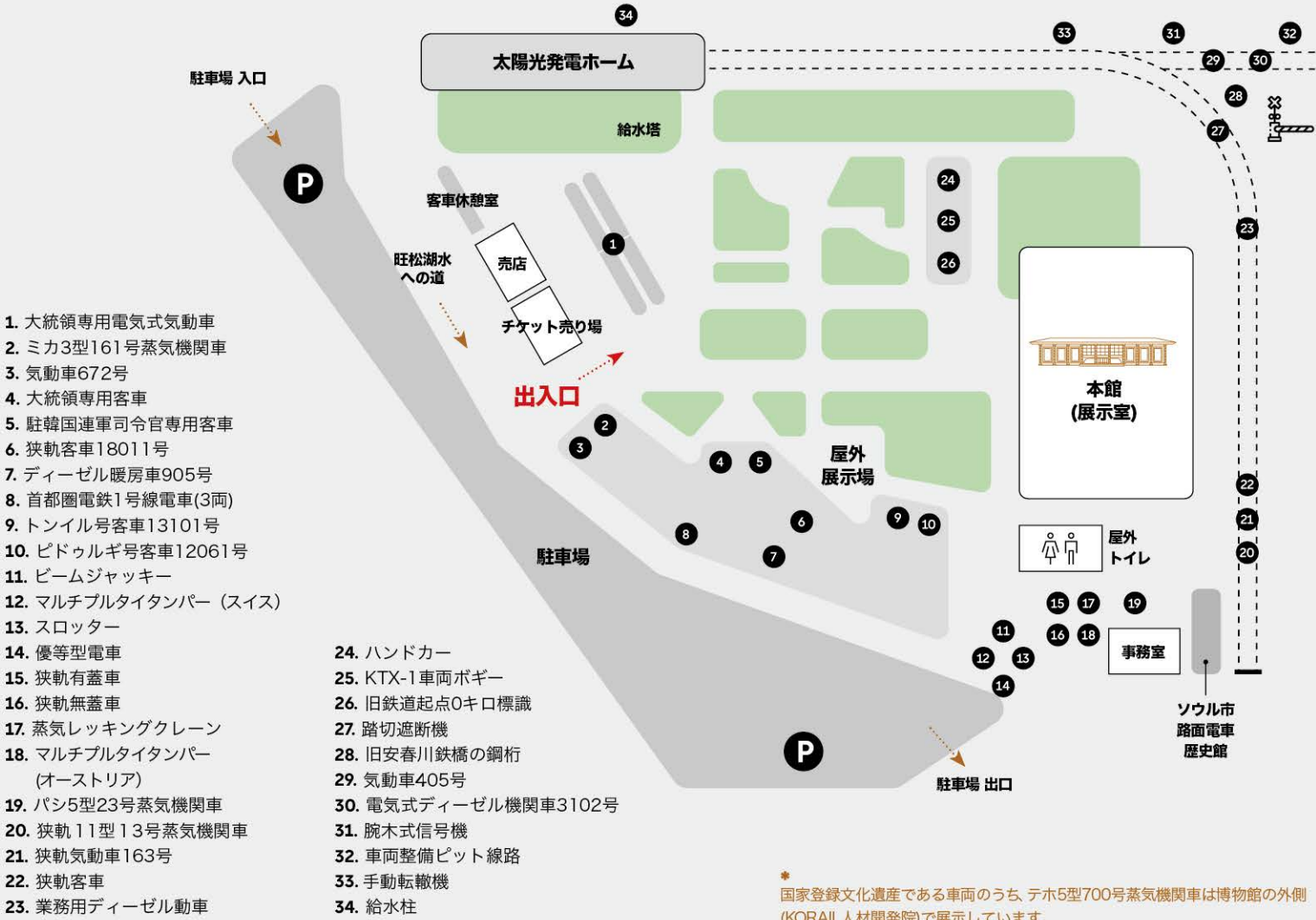




鉄道博物館

館内地図



鉄道博物館の主な展示車



大統領専用電気式気動車
(国家登録文化遺産)



パシ5型23号蒸気機関車
(国家登録文化遺産)



大統領専用客車
(国家登録文化遺産)



駐韓国連軍司令官専用客車
(国家登録文化遺産)

ご利用案内

開館時間

- ・ 夏期(3月~10月) : 09:30~17:30
- ・ 冬期(11月~2月) : 09:30~17:00
- ※ 最終入館は閉館30分前まで

入館料

区分	個人	団体
19歳以上~65歳未満	4,000ウォン	2,000ウォン
4歳以上~19歳未満	2,000ウォン	1,000ウォン

- ※ 団体(20名様以上)は大人、子どもそれぞれに適用します。
- ※ 無料観覧
- ・ 4歳未満の幼児

休館日

- ・ 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ・ 祝日の翌日(週末の場合は開館)
- ・ 正月(1月1日)、旧正月の連休、秋夕の連休
- ・ その他、博物館長が指定した日

交通アクセス

- ・ 地下鉄
首都圏電鉄1号線(京釜線)の義王駅で2番出口から出て右方向に徒歩で10分もしくは左側のバス停でバスに乗車
- ・ バス
義王駅の2番出口の前で1-1、1-2、1-5、5番バスに乗車
韓国交通大学前で下車し、徒歩で3分
- ・ 自動車
ナビゲーション 京畿道義王市鉄道博物館路142(月岩洞374-1)
嶺東高速道路富谷IC進出 左側出口 義王駅 鉄道博物館

鉄道博物館の紹介



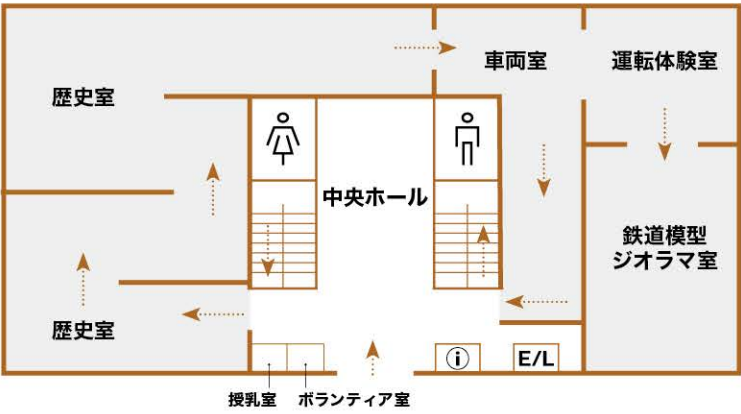
鉄道博物館は、1899年に韓国で鉄道の歴史が始まってから、近代史を貫いて韓国の人々と苦楽を共にしていた鉄道の足跡を記憶するために1988年建立されました。輸送の使命を果たした車両の実物をはじめとして様々な鉄道関係史料を保存・展示している文化と学習の場を目指します。

HISTORY

●	●	●	●	●	●
1935. 10. 1.	1950. 6.	1981. 10. 15.	1988. 1. 26.	1997. 4. 1.	2003. 12.
ソウルの龍山で初の鉄道博物館開館	戦争勃発で閉館	龍山の旧国立鉄道高校実習場に鉄道記念館開館	鉄道博物館(富谷館)を新築開館	ソウル駅分館開館	ソウル駅分館を富谷館に統合

本館

1F



中央ホール
京仁鉄道の起工式の写真と、1/5サイズで縮小した「パシイ型蒸気機関車」が展示しています。



歴史室
旧暦1899年9月18日に韓国で鉄道の歴史が始まってから今まで約120年間の足跡に触れることができます。

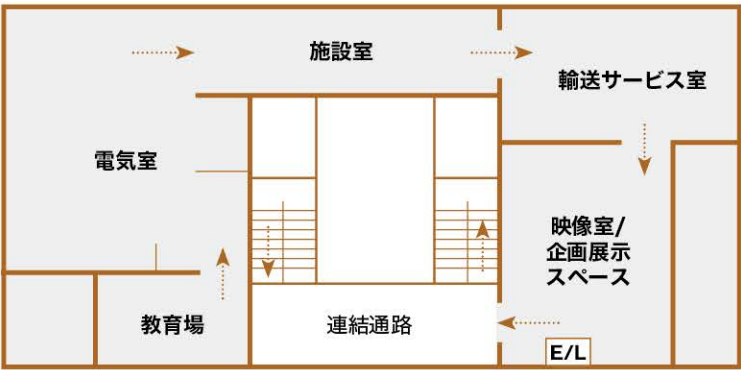


車両室
蒸気機関車からKTX車両に至るまでの鉄道車両の発展過程と列車の走る原理がわかります。



運転体験室/鉄道ジオラマ室
運転体験室では電車の運転シミュレーションが、鉄道ジオラマ室では動く模型列車が見られます。

2F



電気室
列車が速く、安全に走れるように支える鉄道の電気や信号、通信技術の発展過程を紹介します。



施設室
列車の道である線路と停車場(駅)、橋梁、トンネルなど土木構造物の構成と発展史を展示しています。



輸送サービス室
旅客と貨物輸送の最前線を担う駅や運転業務の発展と鉄道旅行の楽しさに関する展示物を紹介します。



映像室
鉄道に関する映像が流れます。また、期間限定の特別展示が主にここで開かれます。

主な体験プログラム

鉄道ジオラマ
過去と現在の主たる列車の模型が、昔のソウルをテーマにして作られたジオラマを走る姿を説明とともに鑑賞すると鉄道に関する理解は深まります。

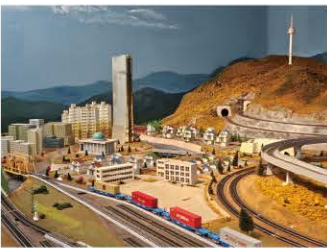
運営時間
平日(2回) 11:30, 14:00
週末・祝日(3回) 11:30, 13:30, 15:30

電車運転体験
運転士になって電車を運転できる子ども向けのシミュレーターです

体験料 500ウォン
体験時間 3分前後

鉄道文化解説(韓国語)
鉄道の歴史と文化について解説者からお話を聞きながら本館を見回ることができます。

運営時間
平日(2回) 11:40, 14:10
週末・祝日(4回) 11:40, 12:40, 13:40, 14:40



Railroad Museum



郵便番号16106 京畿道義王市鉄道博物館路142(月岩洞374-1)
TEL 031)461-3610 FAX 031)460-4322 | <http://www.railroadmuseum.co.kr>

＊体験時間は博物館の都合により変更する場合がございます。